

2024 年度第 4 回・2025 年第 1 回合同評議員会議事録

日時：2025 年 3 月 29 日（土） 13：00 ～ 16：00

場所：東京科学大学 大岡山キャンパス 本館 3 階 第 2 会議室と Zoom によるハイブリッド会議

出席者※：

青柳忍^b, 足立伸一^{a,b,z}, 五十嵐教之^b, 井上豪^{b,z}, 植草秀裕^{a,b}, 海野昌喜^{a,b}, 大原高志^{a,b}, 尾関智二^{a,b}, 上村みどり^{a,b,z}, 河野正規^b, 久保田佳基（行事幹事）^{a,b}, 熊坂崇^{a,b,z}, 小島優子^{a,b}, 小松一生^{a,b,z}, 菅原洋子^{a,b}, 杉本邦久（庶務幹事）^{a,b}, 杉山和正（会長）^{a,b}, 玉田太郎^{a,b}, 藤間祥子（会計幹事）^{a,b}, 中川敦史（監査役）^{a,b}, 中塚晃彦^{a,b}, 西堀英治^{a,b}, 禾晃和（監査役）^{a,b}, 橋爪大輔^{a,b}, 原田彩佳（男女共同参画幹事）^{a,b}, 藤井孝太郎（広報幹事）^{a,b}, 水牧仁一郎（編集幹事）^{a,b}, 宮原郁子^{a,b,z}, 森川大輔（情報幹事）^{a,b}, 森吉千佳子^a, 山下恵太郎^{a,b}, 山田悠介^{a,b}, 山本雅貴^{a,b}, 和田啓^{b,z}

委任状出席者※：栗栖源嗣^{a,b}, 坂田修身^a, 清水伸隆^b, 関根あき子^{a,b}, 千田俊哉^{a,b}, 南後恵理子^{a,b}

欠席者※：なし

議長：杉山和正^{a,b}（会長）

議事録作成者：杉本邦久（庶務幹事）^{a,b}

※2024 年度第 4 回評議員会（定数 30，構成員は^aで表記）：出席 25，委任状出席 5

2025 年度第 1 回評議員会（定数 30，構成員は^bで表記）：出席 25，委任状出席 5

Zoom 出席者（^zで表記）

（五十音順）

上記のとおり定足数に足る評議員の出席があったので、議長は定刻に開会を宣し、下記のとおり議事に入った。また、議事録署名人として海野評議員が選出された。

議事

音声に問題なく議事進行に支障がないことを確認した。報告、審議に先立ち、新旧評議員と各委員会幹事の紹介が行われた。

報告事項

1 幹事報告

1.1 庶務幹事報告（杉本庶務幹事）

会員による次期会長および評議員選挙は、概ね前年度と同程度の投票率で実施されたことが報告された。2025 年度からの 2 年間を任期とする評議員および次期会長を含む新たな運営体制について、あわせて報告があった。また、2025 年 3 月 17 日現在における退会者の状況が報告され、あわせて会費滞納者についても説明がなされた。さらに、賞および助成金等の申請および採択状況に関する報告が行われた。

1.2 会計幹事報告（藤間会計幹事）

監査報告書が提示され、一般社団法人としての 2024 年度決算（2024 年 2 月 1 日～2025 年 1

月 31 日) について報告がなされた。単年度の収支は 2,551,241 円の黒字であり、国際会議口からの振替分を差し引いた実質収支でも 1,551,241 円の黒字となった。2024 年度は、租税公課(法人税)の控除対象となる支出項目が年会において抑えられたことにより、前年度と比較して租税公課の支出額が増加した。国際会議口については、国際会議招致のための積立が終了したことが報告された。また、AsCA2025 に関連する前払い金については、拠出金として処理されており、同会議終了後に決算を行う予定であるため、2026 年度の会計に反映される予定である。リガクファンドロについては、対称性講座の開催経費および年会におけるポスター賞懸賞費に充てられたことが報告された。さらに、今年度は AsCA2025 への参加支援に係る支出が予定されている旨が説明された。

1.3 編集幹事報告 (水牧編集幹事)

会誌の発行状況と特集について報告されるとともに、次号の準備状況と特集について報告された。

1.4 行事幹事報告 (久保田行事幹事)

2025 年度は、AsCA2025 を台湾との共同開催とするため、日本国内における日本結晶学会年会は開催されないことが報告された。また、同年度の主な活動として、対称性・群論トレーニングコース、CrSJ Keynotes オンライン講演会、ならびに粉末結晶解析のアプリケーションを意識した関西地区での粉末結晶解析講習会の企画について報告がなされた。また、2026 年度の日本結晶学会年会については、東北大学片平キャンパスでの開催が計画されていることが併せて報告された。

1.5 情報幹事報告 (森川情報幹事)

日本結晶学会ホームページの更新状況および閲覧状況について報告がなされた。ホームページのデザインに関しては、スマートフォンでの閲覧性向上を目的とした改修が実施された。また、ホームページのコンテンツに関しては、新規会員の獲得を目的として、中高生を含む非専門家向けの情報発信の充実を図るとともに、若手研究者のキャリアパスに関する情報の拡充についても検討が進められていることが報告された。

1.6 広報幹事報告 (藤井広報幹事)

メールマガジン「日本結晶学会からのお知らせ」、会員からの情報提供による「日本結晶学会ニュース」の配信状況、ならびに IUCr Newsletter への投稿実績について報告がなされた。これらの情報発信については、可能な限り随時配信とすることで、広報効果の向上を図っていることが併せて報告された。

1.7 男女共同参画推進幹事報告 (原田男女共同参画推進幹事)

男女共同参画推進連絡会議が開催され、男女間の賃金格差、若年層の性別役割意識、仕事と健康課題の両立支援男女共同参画の視点に立った防災復興の 4 グループの会合が行われたことについて報告された。若年層の性別役割意識に関する調査として、18 歳から 26 歳までの計 3,000 人を対象にアンケートが実施されたことが報告された。あわせて、ジェンダー平等および女性のエンパワーメントの推進と実施に関する国際的な指針として、ISO 53800 が発行されたことが紹介された。

2 AsCA 関連 (杉本 AsCA 評議員)

AsCA2025 参加助成制度について報告がなされた。本制度は、対象となる会員に対して、AsCA2025 参加登録時に 150 米ドルを日本結晶学会が負担するものである。ただし、支援決定前に参加費を自己負担した場合には、助成の対象外となる。助成の対象者は、当該国際会議において口頭またはポスター発表の要旨を提出する発表者であり、共著者のみの場合は対象とならない。正会員については、2025 年 3 月 31 日までに会員資格を有し、かつ会費の滞納がないことが条件とされている。学生会員については、2025 年 8 月 1 日までに入会手続きを完了し、会費を納入済であることが要件とされた。

3 IUCr 関連（中川 IUCr 分科会委員長）

IUCr2026 の開催準備について報告がなされた。現在、国際プログラム委員会（IPC）においてプログラムの編成作業が進行中である。IPC の構成については、IUCr 各 Commission から 1 名ずつが推薦される形式がとられており、形式上の構成条件は満たされているものの、日本からの委員の選出はなかった。あわせて、IUCr2029 の開催地がドイツのベルリンで会期は 2029 年 8 月 18 日から 25 日までの会期で行われることが報告された。

4 日本学術会議関連（中川 IUCr 分科会委員長）

「持続可能な未来を築く物質・構造・機能」をテーマとする日本学術会議 化学委員会 結晶学分科会・IUCr 分科会 合同シンポジウムの開催について報告がなされた。開催日は 2025 年 7 月 20 日（日）13:00～16:00 を予定しており、現在、開催に向けた準備が進められている。

審議事項

1. 会員異動

2024 年度第 3 回評議員会以降の新規入会者の紹介、入会申込書類の閲覧があり、全員の入会が満場一致で承認された。2024 年 11 月 5 日から 2025 年 3 月 17 日までの会員の異動状況が報告された。2025 年 3 月 17 日現在、会員数が 1013（個人会員 996 名、賛助会員 17 社）である。

2. 共催・協賛・後援

共催等依頼について協賛 3 件及び後援 2 件（計 5 件）が満場一致で承認された。

3. 2024 年度決算

2024 年度決算が満場一致で承認された。

4. 2024 年度会計について

藤間会計幹事より、学会開催において「経費が掛からず、かつ利益が発生した」場合に課される法人税については、事前に正確に予測し予算に計上することが困難であるとの説明がなされた。これに関連して、これまで租税公課に含めていた当該法人税額を、今後は経常外費用として取り扱うことが提案され、出席者の全会一致により承認された。

5. SNS による発信について

広報委員および情報委員による合同検討のもと、SNS 運用の開始について報告が行われた。SNS を活用する目的は、会員および非会員に向けた広報活動を強化し、学会イベント情報の告知経路を拡充するとともに、学会のアクティビティの活発さを対外的に示すことにあるとされた。運用手段としては、まず X の活用を開始し、発信内容としては、学会からのメール配信と同様の情報提供に加え、過去の学会誌記事の紹介や、学会員によるプレスリリースの

紹介などが挙げられた。これらの方針について報告が行われた後、出席者の全会一致により承認された。

6. オンライン入会について

杉本庶務幹事より、現在の書面による入会申請を踏襲した形でオンライン入会に移行することが報告された。前回の評議員会では、書面およびメールでの入会申請は、1年間の移行期間として継続すると報告しましたが、いずれの場合においても、入会希望者は、ホームページ上から入会書式をダウンロードできる環境にあることから、2025年4月1日より、入会手続きはオンラインのみの受付へ移行する予定であり、出席者の全会一致により承認された。

7. その他

2025年度日本結晶学会における西川賞、学術賞、進歩賞の各賞について、候補者推薦の依頼がなされた。推薦の締切は2025年5月31日（必着）であることが報告された。

8. 次回評議員会日程

次回（2025年度第2回）評議員会の日程と会場について、7月12日（土）に東北大学の片平キャンパスにて開催することとなった。形式は、ハイブリッド形式であることが告げられた。

以上

上記の決議を確認するため、議事録を作成し、議長及び議事録署名人が記名捺印する。

2025年 4月 1日
一般社団法人日本結晶学会
評議員会

議長・会長 杉山 和正 印

庶務幹事・評議員 杉本 邦久 印